

CONTENTS

文化庁月報

1993 6 No.297

特集●アートマネージメントの現状と課題

巻頭論文	アートマネージメントの意義と課題	伊藤裕夫	4
アートマネージメントの実際	神戸文化ホール・自主事業の展開	妹尾美智子	7
	東急文化村ザ・ミュージアムにおけるアートマネージメントの実際	中村隆夫	9
	オペラにおけるアートマネージメント	小林常吉	11
大学とアートマネージメント教育		美山良夫	14
海外のアートマネージメント教育		林 容子	16
求められる新しいアートマネージメント		吉田貴壽	18
創造と鑑賞を結ぶもの		高階秀爾	19

法人紹介～文化に息吹を～

複写問題への対応手段	
日本複写権センター	22

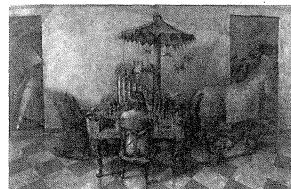
ACA(Agency for Cultural Affairs) NEWS

平成5年春の褒章受章者決まる	28
平成5年春の勲章受章者決まる	28
内閣総理大臣招待	
芸術文化関係者との懇親のつどい	29
平成5年度芸術文化助成財団助成金贈呈式	30
財団法人第二国立劇場運営財団が発足	30
重要無形文化財の指定・認定	31
重要有形民俗文化財の指定並びに	
選定保存技術の選定・認定	35
史跡名勝天然記念物の新指定	38
重要文化財の新指定(美術工芸品関係-1)	40

- ちょっと一息/森下洋子20
- 施策Q & A24
- 著作権法利用講座③26
- 文化財保護法発掘講座③27
- 芸術文化振興基金ニュース46
- 今月の国立劇場47
- 編集後記48

イベント案内

「ゴッガンとボン＝タヴァン派」	
／京都国立近代美術館	44
「デュビュッフェ初期の作品展」	
／国立国際美術館	45



「アルモニウムの部屋」 鍋島正一／作
(平成3年度文化庁買上作品)
なべしま・まさかず／昭和30年兵庫県生まれ。昭和53年武蔵野美術大学卒業。同54年渡仏、パラッツオスピネッリ修復所、パッジーニ工房にて絵画修復を学ぶ。同56年サンラファエル市国際サロングランプリ受賞。同59年から62年までむさしの展に毎回出品。62年関西新制作作家賞。平成元年、2年新制作協会展新作家賞。その他、日本橋三越などにて個展計5回。現在：新制作協会協友。

歌え歌え 間の中で歌え

森下 洋子

ちよつと一息

文化の香りをあなたに

上演しました。ギリシア神話の宇宙論ともいえるものですが、オリュンポスの主神「ゼウス」と「ムネモシネ」の間に生まれた「カリオペ」や「デルプシコラー」など九人の詩歌女神（ムース）の世界を創りました。

円形の傾斜舞台には、まるで衛星から見たような地球が描かれています。ホリゾンと舞台の床、全てが星雲です。

九人の詩歌女神（ムース）は、それぞれの踊りを与えられています。次の女神にバトンタッチしたあとの、ちよつとした間の工夫が必要でした。

間の中でよりよく歌えるようになるために、バレエのテクニックを自家薬籠中のものにしてはなりません。バレエの間の中で独り歌うためには、並々ならぬ精進の毎日が、隠されており。

バレエ団を評価する基準はいくつかありますが、その重要な一つに、コール・ド・バレエの良し悪しがあげられます。

全員が一糸乱れず、振付家の意図を具現することは第一の基礎ですが、だからといってそろつたから良い、というものではありません。

「白鳥の湖」の第二幕で、白鳥オデットと王子ジークフリートのパ・ド・ドゥ（二人の踊り）のとき、舞台の上手下手に各八名ずつの白鳥たち（コール・ド・バレエ）が、ポーズをとっています。白鳥たちは静止しているようにみえますが、実は踊っているのです。オデットと一緒に呼吸をしているのです。このようなところにこそ、コール・ド・バレエの真価が出るのです。ライトはおさえられて、コール・ド・バレエの顔も見分け

香り高いコーヒーがはこばれる、ミルクを入れる、ここまで
は人の技、するとミルクは独り踊り始めるのです。ミルクの踊り
は千変万化、常に独創的です。コーヒーカップは、ミルクの
創る舞台空間です。オフィスでもカフェでも自宅でも、この小
さな舞台空間が私たちを創造の世界へと誘ってくれます。

音楽の中で踊るのは普通の技、音と音の間の楽譜にない音の
聞こえないところに自分で音を創り、振付にもないところを踊
るのが、身体で歌う歌なのです。

間の中で歌うのです。
バレエの舞台は総合芸術であり、一歩間違ふととてもこわい
ところ。演出、振付、音楽、舞台装置、衣裳、そして最後
の仕上げの照明と、どれか一つでも手ぬかりがあったら成功
しません。装置が全くない舞台であっても、それらが計算され
た舞台空間ですらあるのです。

松山バレエ団創立四十五周年記念として、新作「ムーサ」を



森下 洋子
(もりした・ようこ)
松山バレエ団プリマ・バレリーナ。
日本芸術院賞、芸術選奨文部大臣賞、
芸術祭大賞、毎日芸術賞、東京新聞舞踊芸術賞、
朝日賞、都民文化栄誉章、英国ローレンス・オリビエ賞、
バルナ国際バレエコンクール女性第一位金賞ほか受賞。
広島市出身。

なく、実は白鳥たちの物語でもあるのです。コール・ド・バレエは、主役の踊りに合わせて間の中でも踊っているのです。

がつきません。が、めだたないところでも全力を尽くすのがバレエです。コール・ド・バレエは、このバレエの主役でもあるのです。

芸術監督の松山先生が若者たちに繰り返し、

「バレエの真髄はここよ。」

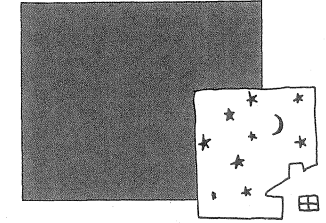
と、懸命に教えています。

こまかい息遣い。主役一人との調和。オデットと同じように、王子に対する信頼とよろこび、悪魔ロットバルトによって白鳥にされた深い悲しみ。

「白鳥の湖」は、オデットとジークフリートだけの物語では

6月文化庁行事予定

- 7日・芸術祭執行委員会（第1回）総会（国立教育会館）
- 8日・国語審議会総会（第8回）（都道府県会館別館）
 - ・重要無形文化財・選定保存技術保持者等認定書交付式（ホテルニューオータニ）
- 15日・平成5年新作刀展覧会表彰式（（財）日本美術刀剣保存協会）
- 18日・日本芸術院会員懇親会（上野精養軒）
 - ・文化財保護審議会（文化庁）
- 中旬・全国国宝重要文化財所有者連盟懇親会（築地本願寺）
- 下旬・国民文化祭実行委員会（第18回）（未定）



文化庁月報 6月号 (通巻297号)

平成5年6月25日印刷・発行

編集一文化庁
〒100 東京都千代田区霞が関3-2-2
発行一株式会社きょうせい
本社 〒104 東京都中央区銀座7-4-12
電話03(3571)2126 (代表)
営業所 〒162 東京都新宿区西五軒町4-2
電話03(3268)2141
振替口座 東京9-161番
印刷所一(株)行政学会印刷所

定価500円（本体485円）送料51円
年間購読料6000円
本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込み下さい。

広告の問い合わせ・申し込み先
(株)きょうせい営業第一課宣伝係
電話03(3269)4145 (ダイヤルイン)
©1993 Printed in Japan
ISSN 0916-9849

編集後記

個人的な体験で恐縮ですが、ニューヨーク勤務中最も驚いたことの一つは、オペラにしろミュージカルにしろ、我々が芸術活動と信じて疑わないものが、アメリカ人にとってはビジネスの一形態に過ぎないということでした。と言っても、米国の芸術家が墮落している訳では全くなく、逆に世界的な大芸術家の中にさえ、大企業顔負けのビジネス感覚を持っている人が珍しくないということに、びつくりさせられたのです。

自分の好きなことをとことんやれば必ず世間が認めてくれる日本の芸術家の多くは、いまだにそう考えていることでしよう。しかし、劇場やホールはそんな芸術家の心意気だけでは運営できません。資金調達、マーケティング、PRといった企業が商品販売する際に用いる技術だって必要です。アートマネージメントとは、アイドルを売り込む宣伝活動ではなく、芸術家を育て、人々に芸術鑑賞のより幅広い機会を与える仕事であると考えるべきではないかと思えます。

(K)